

第1回「国際的なアクティブ・エイジングにおける日本の貢献に関する検討会
2013年6月14日

グローバル・エイジング 地球規模の人口高齢化

国立社会保障・人口問題研究所
林玲子

UNFPA(国連人口基金)の取り組み

- 世界の高齢化に関するシンポジウムを日本・東京で開催(2012年10月)
- 世界の人口高齢化に関するレポート(2012)
『21世紀の高齢化：祝福すべき成果と直面する課題』
<http://www.unfpa.or.jp/cmsdesigner/data/entry/publications/publications.00034.00000007.pdf>
 - 「マドリッド国際行動計画」の遵守、高齢女性への差別、所得補償としての年金制度、もしくはソーシャル・プロテクション・フロア(最低限の所得と社会サービスの保障)、高齢者の労働、質の高い保健医療サービス、物理的環境(住宅、移動手段)
 - 「人口高齢化そのものが経済発展を阻害してきた、・・・という証拠はない」
 - 「教育・雇用・退職」という「三箱セット」はすでに規範ではなくなってきている」

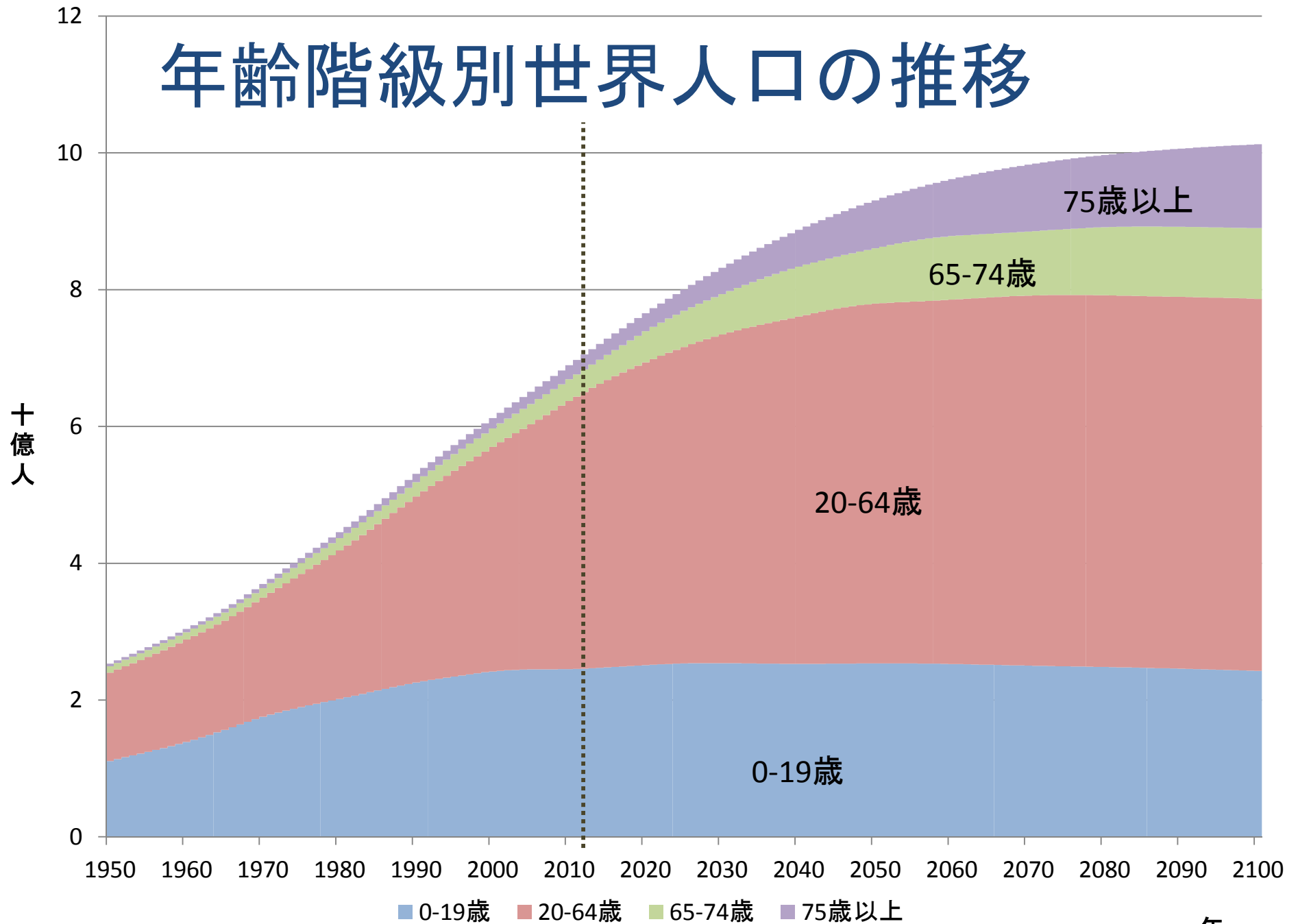
ポストMDG開発目標（国連システム）

- 人口変動（Population Dynamics）の一つの要因として高齢化を取り上げる（人口移動、ユースバルジ、人口都市化と並列）
 - 格差と差別、不十分なデータ

第6回アジア太平洋人口開発会議

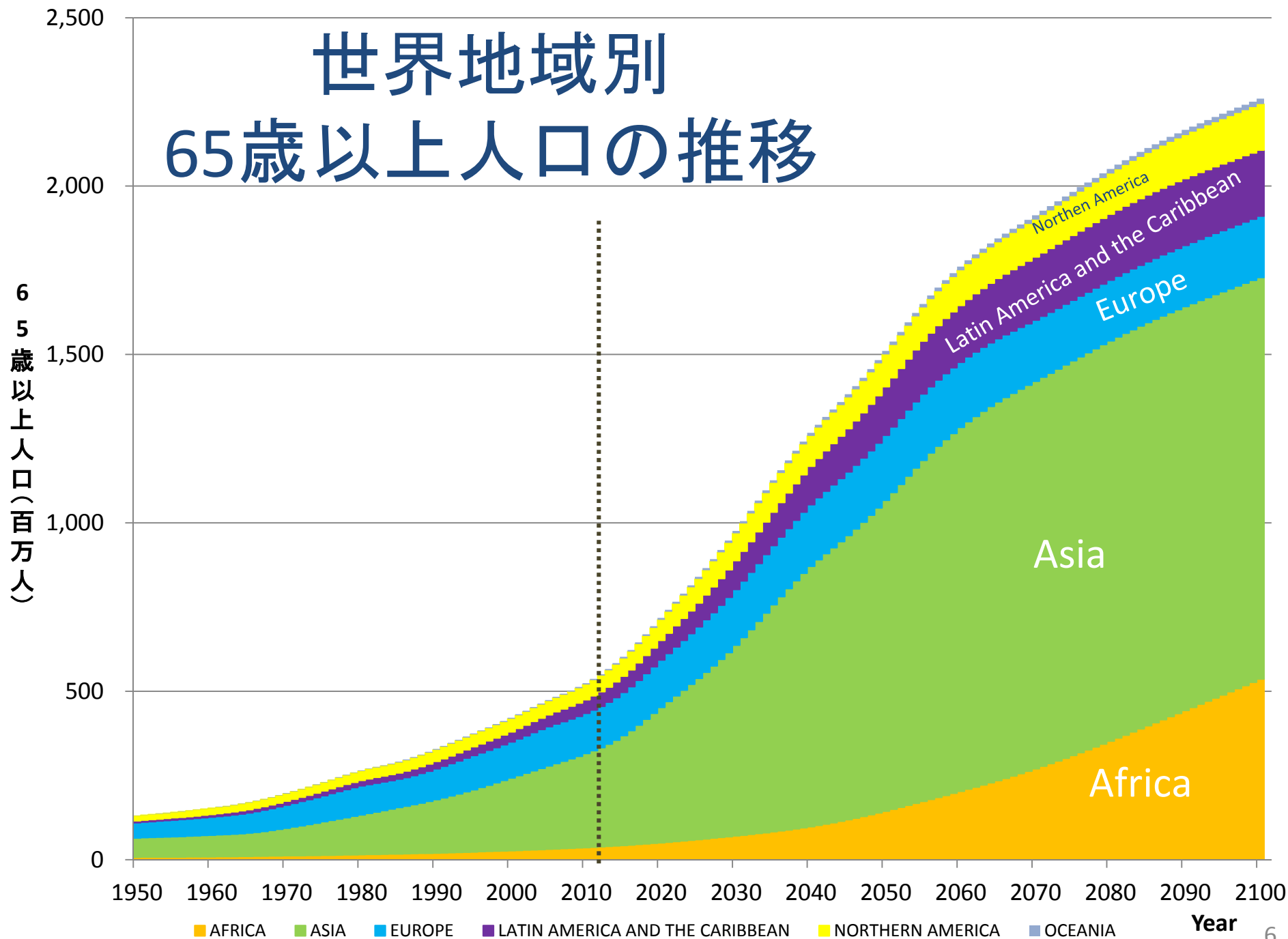
- 1963年よりほぼ10年毎に開催（UNESCAP）
- 今年9月に開催される第6回では、人口高齢化が今後アジア太平洋地域で取り組む課題の一つとしてクローズアップ
 - 高齢者の人権（法制度、虐待防止）、各分野の連携体制の構築と予算確保、ジェンダー（特に高齢女性への視点）、貧困と社会的孤立の防止、皆年金、ライフコースアプローチと継続ケア（予防・急性・慢性・長期・終末期）、在宅・地域包括ケア、ユニバーサルデザイン、高齢者の統計データ整備、各国グッドプラクティスの共有、等

年齢階級別世界人口の推移



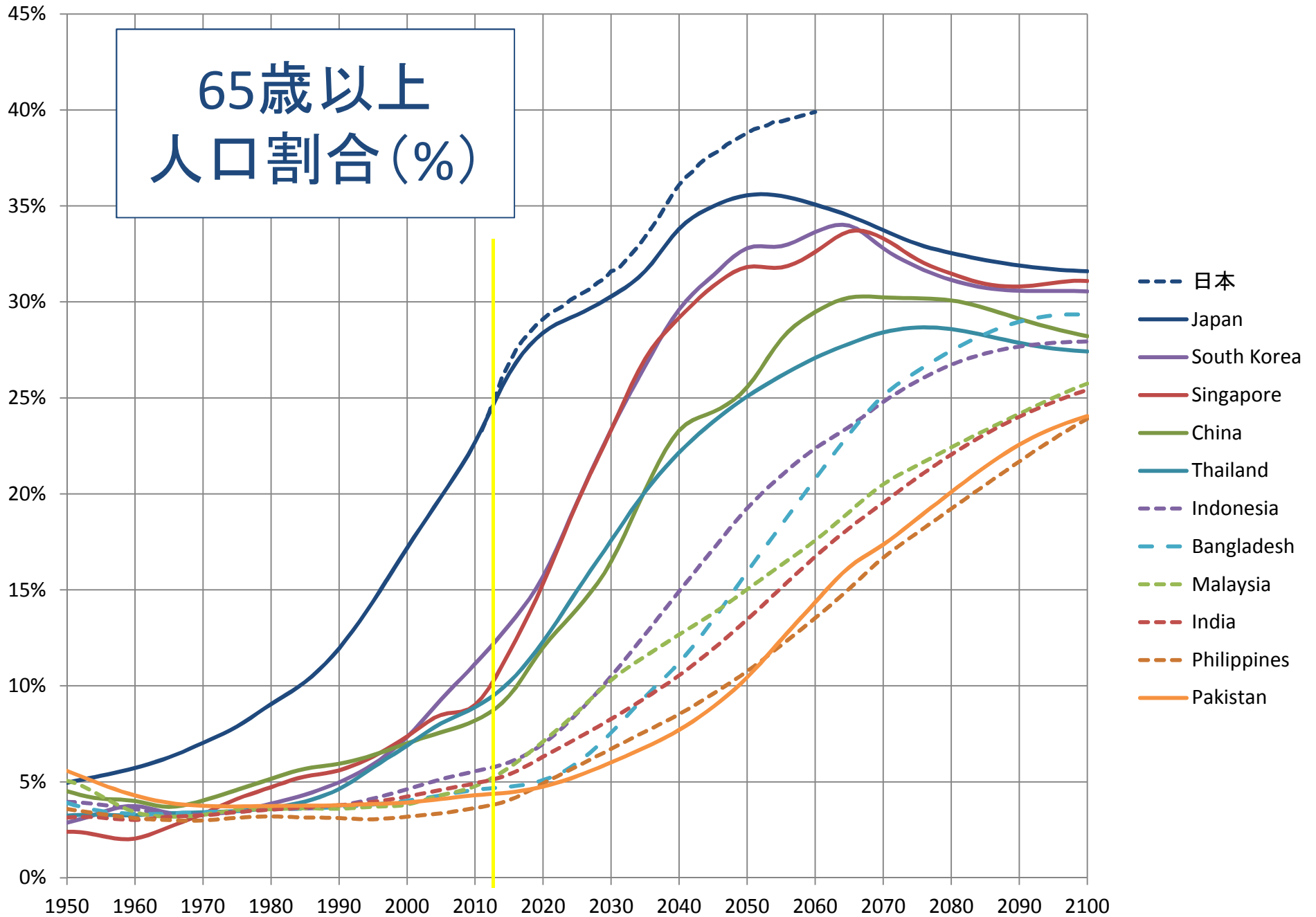
Data source : United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2011). World Population Prospects: The 2010 Revision, CD-ROM Edition.

世界地域別 65歳以上人口の推移



Data source : United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2011). World Population Prospects: The 2010 Revision, CD-ROM Edition.

65歳以上 人口割合(%)



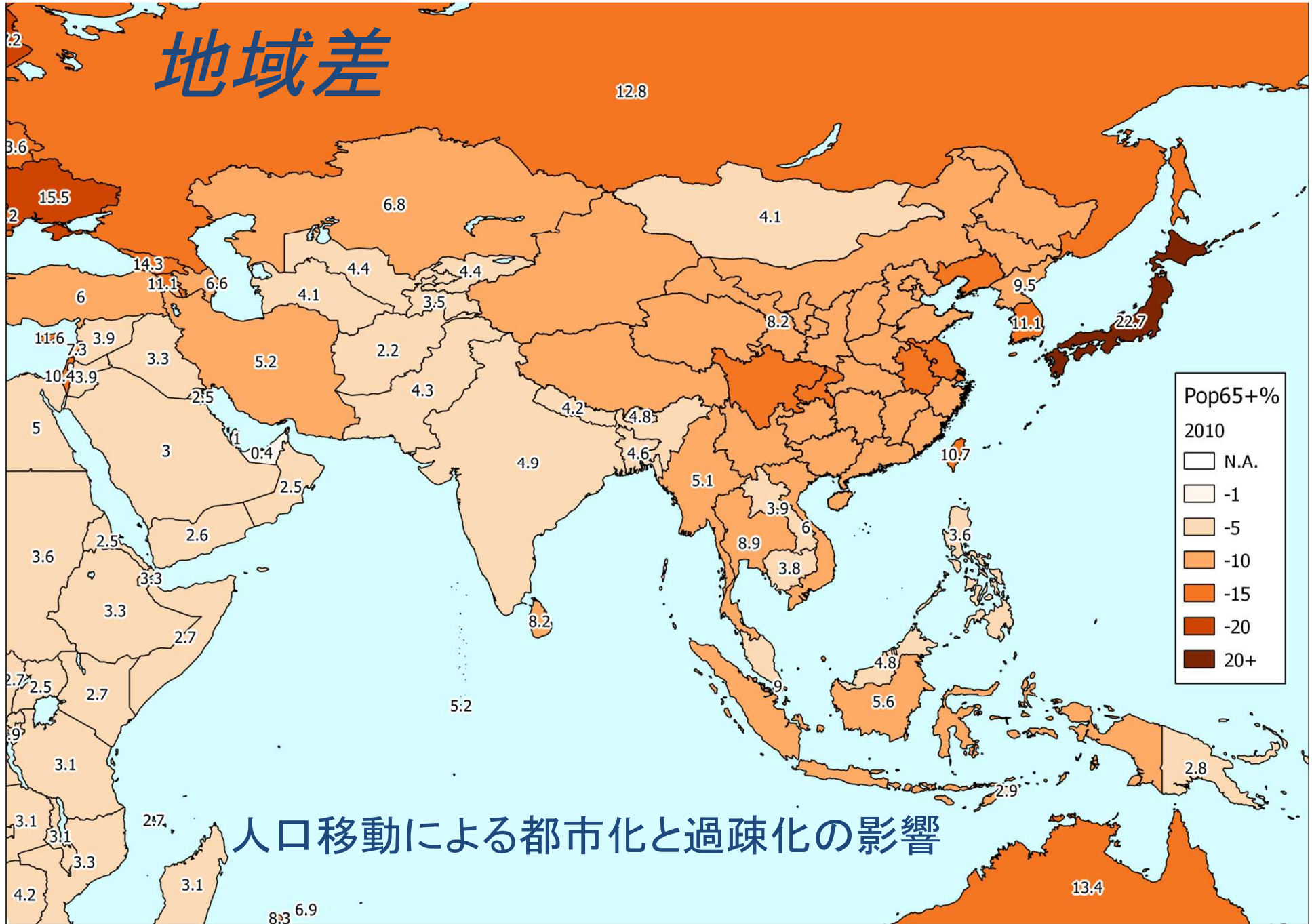
Data source : United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2011). World Population Prospects: The 2010 Revision, CD-ROM Edition
「日本」は国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口(平成24年1月推計)

経済開発と人口高齢化 (「未富先老」はあるか?)

	日本	韓国	中国	タイ	シンガポール
一人当たりGNI (US\$, 2010)	41,850	19,890	4,270	4,150	40,070
65歳以上割合%(2010)	22.7%	11.1%	8.2%	8.9%	9.0%
↑%の日本達成年	2010	1988	1977	1980	1980
↑年の日本の 一人当たりGNI (US\$)	41,850	24,030	5,760	10,510	10,510



地域差



人口移動による都市化と過疎化の影響

高齢化と家族の変容

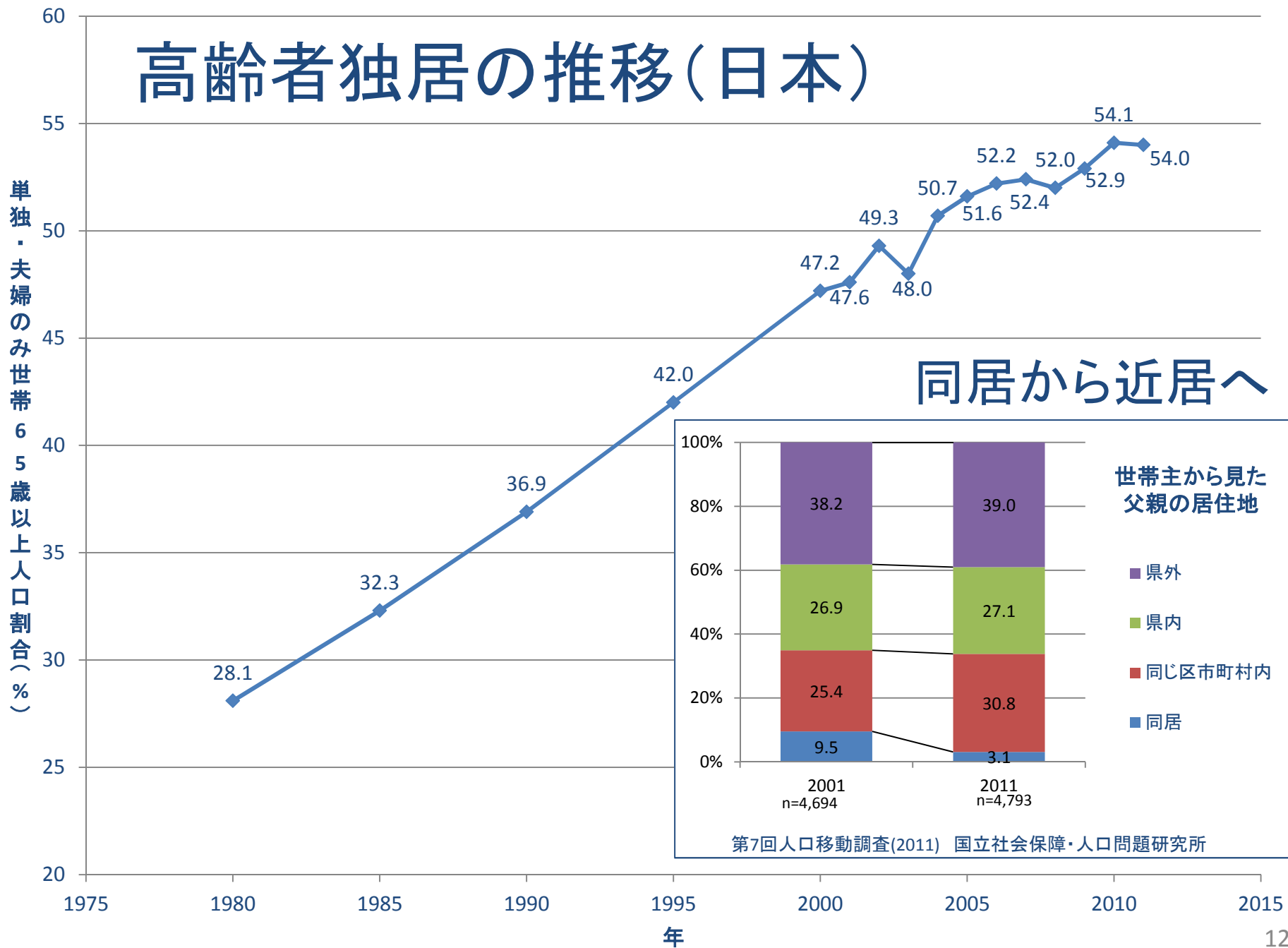
独居もしくは夫婦のみ世帯の60歳以上人口割合(%)

	男性	女性
中国	39.7	34.1
日本	54.0 *	
モンゴル	19.8	18.4
インドネシア	24.1	24.1
マレーシア	21.9	20.1
ミャンマー	11.7	8.6
フィリピン	18.1	16.9
タイ	21.3	16.8
ヴェトナム	29.8	26.8

United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division “Population Ageing and Development 2012”

*日本は65歳以上、厚生労働省統計情報部『厚生行政基礎調査報告』および『国民生活基礎調査』による、人口統計資料集(2013 社人研)

高齢者独居の推移(日本)



保健医療と社会保障

- 医療技術者の国際移動
- 移民型社会（台湾、マレーシア型）と非移民型社会（日本・韓国型）→介護保険に対する異なった反応
- 高齢者の高学歴化
- 家族でみるか、社会でみるか
 - National Transfer Accountの視点
 - 年金「制度」の構築
 - 高齢者に関するデータの整備
- 終末医療のあり方（家・施設・病院）

年功序列：相対的な年齢順に座るエチオピアの人々 世界各国の敬老・養老の思想やしくみ



長崎大学増田研准教授提供
場所：エチオピア南部諸民族州
南オモ県、バンナ郡、ポリ村
撮影年：1998年

老いをどうとらえるか→Active Aging

